

過疎地域神社活性化推進地域 中間報告書（1年目）

平成30年1月1日～12月31日

神社名 田ノ上八幡神社
鎮座地 宮崎県日南市飢肥十丁目三番十二号
旧社格 村社
氏子数 約八百世帯
神職数 三名
宮 司 佐師 正起

神社由緒

「日向地誌」によると、彦火火出見尊、豊玉姫、応神天皇を祀るとある。大隅国桑原郡に稲津弥五郎というものがおり、その地の一宮八幡の御神体を背負い来て、この地に祀ったという。社殿は天永元年庚寅十月二十五日創建すると伝える。

明治四年、五座を合祀し板敷神社となり、明治二十四年に再び田ノ上八幡神社と改称された。

例大祭には、竹籠を編んだ一丈半以上の巨人の弥五郎の偶人形が衣袴を付け、長刀を運び、右手に長槍をつかせ四輪車で子供たちが曳く弥五郎神賑行事は、いままなお続けられ、国選沢・宮崎県無形民俗文化財に指定されている。

境内の楠は、飢肥初代藩主伊東祐兵が楠原字八幡原にあった八幡神社を天正十六年現在地に移した記念に、祐兵自身が手植えたと伝えられている。樹齢四百三十年といわれ、日南市の天然記念物に指定されている。

氏子地域の社会環境

神社は飢肥城の一角に鎮座し、江戸時代には飢肥城鎮守神社として崇敬も篤かったが、近年は少子高齢化が進み後継者不足や空き家問題もあり、集落によっては祭典の護持運営も厳しさを感じることもある。

－活動方針－

弥五郎様は大隅国隼人族の首長と伝えられており養老四年、宇佐の地にて大和朝廷との戦に敗れ戦死しその後、放生会が行われ、弥五郎神賑行事が行われるようになった。弥五郎神賑行事は、宮崎県都城市山之口町の野正八幡宮、鹿児島県曾於市大隅町岩川八幡神社、当社の三ヶ所しかなく、平成三十二年には朝廷との戦より千三百年を迎える。

これを機に氏子崇敬者の協力のもと弥五郎神賑行事はもとより、氏神社として氏子意識の高揚をはかる活動を行い、その振興をはかる。

実施計画案概要

一年目

- ①氏子意識の教化をはかる
- ②弥五郎保存会を発足する
- ③神社、弥五郎様の由緒掲示板等をつくる
- ④HP や SNS を使用し、神社広報を行う

1. 選定報告書に基づく初年度の活動状況

①実施した活動

(1) 実施日：平成30年1月1日～

内 容：奉納祈願旗

氏子崇敬者より祈願旗を奉納。初穂料五千円。



(2) 実施日：平成30年1月1日～

内 容：弥五郎様顔出パネル設置

境内に顔出パネルを設置し、弥五郎様に親しみを持って頂く。

経 費：10万円



(宮崎日日新聞 平成30年1月25日 掲載)

(3) 実施日：平成30年1月1日～

内 容：田ノ上八幡神社オフィシャル、フェイスブック、インスタグラム、ツイッター開設。

神事、日々の神社の様子等を投稿。

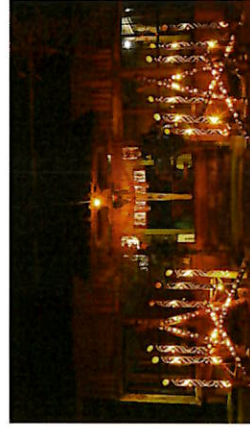
現在 (平成31年4月 FB151人、インスタ217人、ツイッター24人フォロー)

(4) 実施日：平成30年1月1日～3日

内 容：田ノ上八幡神社×NITTAKE 竹灯籠

大晦日より竹灯籠を設置し、新年をお祝いし、参拝者楽しんで頂く。

経 費：10万円



竹燈が、良い夜を彩りますように大晦日・元日の夜に神社で竹燈飾り。
/ 竹燈飾りには、お祈りの気持ちを込めて、お参りください。お参りして頂きます。

12月31日 点灯開始 23:00～ 点灯式 0:00
1月1日～3日 17:00～20:30

お問い合わせ先 田ノ上八幡神社
宮崎県日南市日南1-1-2 TEL: 0982-55-5112 Mail: tanosachin@nitsake.com
竹燈飾りにお参りください。お参りして頂きます。XNUMXは、お参りして頂きます。お参りして頂きます。



(5) 実施日：平成30年1月20日～21日

内 容：田ノ上八幡神社弥五郎保存会発足に辺り研修旅行。

鹿児島神宮正式参拝、阿蘇神社正式参拝 (総代、保存会12名参加)



(6) 実施日：平成30年2月1日～28日

内 容：弥五郎様ステッカー配布

当社、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターのフォロー・チャックインしてくださった
参拝者等に配布。

経 費：3万円



(7) 実施日：平成30年3月10日～18日

内 容：DENKEN WEEK 助成

日南市飲肥地区「伝統的建造物群保存地区」選定40周年記念事業
プロジェクションマッピング等開催



(8) 実施日：平成30年11月12日

内 容：田ノ上八幡神社例大祭「弥五郎様祭」斎行



二年目

①教化活動の継続

②弥五郎神賑行事を行う三社との連携をはかる